

第206回企画展

—開館40周年—

酒田と 資料館の あゆみ

開催期間

平成30年

4月7日(土)

～6月11日(月)

※展示変更に伴う休館日

4月3日～6日、6月12日～15日

開館時間

午前9時～午後4時30分

入館料

一般100円 学生50円

(土日は小中学生無料)

入館無料日

こどもの日(5月5日)

開館40周年記念日(5月18日)

酒田まつり期間(5月19日～21日)

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16

電話 0234-24-6544



◀開館間もないころの資料館
(昭和五十三年)

▶大火からの復興を
祝う市民の人々
(昭和五十四年)



◀資料館に来館した土門拳(昭和五十三年)

酒田市と資料館が歩んだ四〇年の歴史を、
さまざまな收藏資料、写真と共に振り返ります。
懐かしい写真を眺めて、ちよつと昔の酒田に
タイムスリップしてみませんか？



◀資料館来館記念スタンプ

酒田市立資料館は昭和53年(1978)5月18日の開館から今年で40周年を迎えます。

当館は酒田大火(昭和51年)で被災した一番町に建設されました。市内に残る文化財や美術品、身近な暮らしの道具など、さまざまな資料を保存し、次世代に伝えてゆく役目を持っています。市民からの寄贈などにより、当館には酒田の歴史を物語る歴史資料が集まりました。それら資料を活用し、市民や観光客への歴史・文化の紹介、子どもたちへの教育活動などを行っています。

40周年の節目を記念した今回の企画展では、時代を写した写真や当館を代表する資料を展示し、酒田市と資料館の歴史を振り返ります。



◀当館第一回企画展「酒田のあゆみ」パンフレット

酒田市と資料館のあゆみ	
昭和53年	資料館開館 最高気温が40.1度を記録
昭和54年	大火復興宣言
昭和55年	酒田市人口10万人突破
昭和57年	総合文化センター開館
昭和58年	「おしん」ブーム 市制50周年
昭和61年	北前船復元船「辰悦丸」来港
昭和63年	六角灯台が県文化財に指定
平成3年	庄内空港開港
平成4年	城輪柵跡政庁城一部を復元 酒田港開港500年 べにばな国体開催
平成9年	資料館開館20周年記念誌発行 東北自動車道酒田線開通
平成13年	東北公益文科大学開学
平成16年	希望ホール開館
平成17年	旧1市3町が合併し新酒田市誕生
平成21年	「おくりびと」ブーム 酒田まつり創始400年
平成23年	東日本大震災
平成24年	県立酒田光陵高校開校 出羽国設置1300年
平成28年	鳥海山・飛鳥ジオパーク認定
平成29年	北前船ストーリーが日本遺産認定
平成30年	資料館開館40周年



▲気温40.1度の暑さにより変形したレコード(昭和53年)



◀市指定有形文化財 透彫鶏籠置物 (江戸時代後期 後藤三惣作)

覚えていますか？ 昭和53年頃の流行ワード

- 竹の子族
- 口裂け女
- アウー

市指定有形民俗文化財 平成29年度新指定

「天楽人形芝居」資料展示

かつて東北各地で上演された「人形芝居」。人形師・吉田天楽丸(宮海)が遺した道具類を文化財指定後、初展示します。



次回企画展予告

第207回企画展
酒田の明治時代 文明開化のおもいで
開催期間 6月16日～8月27日

明治元年から150年となる今年は、自由民権運動や戦争、学校の新設や当時の流行など、酒田の近代化のあゆみを、さまざまな資料からご紹介します。

調査員による展示解説

日時：5月12日(土) 午前10時～
料金：無料(入館料別途必要)

資料館所蔵の文化財や酒田市の歴史、当時の流行など、40年の歴史をわかりやすく説明します。

※申込みはお電話で。駐車場に限りがありますので、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16
電話 0234-24-6544